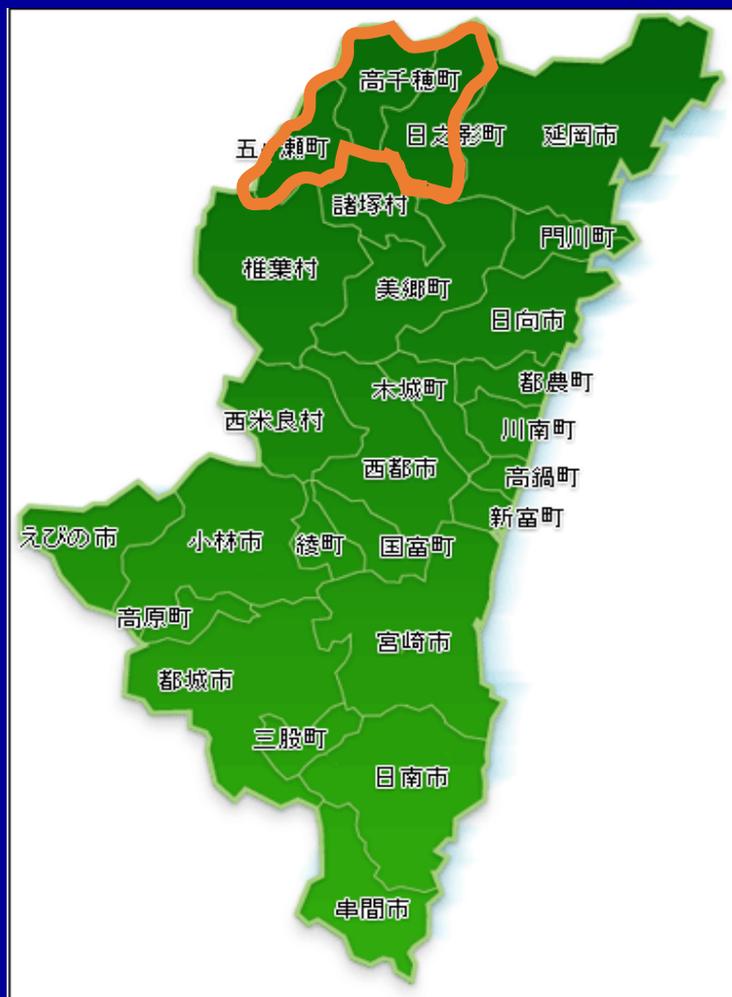


市町村自殺対策行動計画策定における 保健所の関わりについての一考察

○寺町真由美¹⁾、高妻真子²⁾、上谷かおり³⁾

1) 中央保健所、2) 日向保健所、3) 高鍋保健所

はじめに



西臼杵地域の概要

人口：1.9万人

市町村数：3町

自殺者数（人口動態統計）

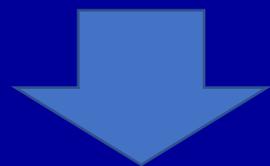
	H27	H28	H29
西臼杵地域	13	2	7
宮崎県	255	205	199

方法と結果

(1) 検討する機会の提供

① 担当者レベルの密な情報共有

- ・西臼杵地域自殺対策担当者会議（H30.1～11月）
→ 実施上の困難感を共有、解決策を検討



各町の進捗状況を確認
段階的にニーズを把握し具体策を検討

方法と結果

(1) 検討する機会の提供

②住民意識調査の側面的支援 (H30.2~9月)

- 調査票作成:

 - 県全体のデータと比較できるように検討

- 調査集計、検定:

 - 既存事業と組み合わせ、技術的研修の場を設定

方法と結果

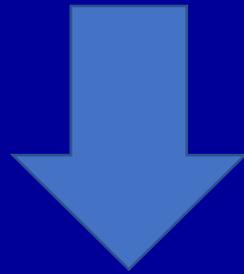
(2) 直接的な働きかけ

① 組織のトップに理解を求める (H30.6~8月)

- ・ 各町長、副町長、幹部職員との意見交換
- ・ 各町議員との意見交換
- ・ 保健所運営協議会
- ・ 西臼杵地域自殺対策推進協議会

方法と結果

自殺に関する現状や計画策定の流れ等を
レクチャー(従来の説明・提案の場を活用)



各町の取り組みを
一体的に伝達

各首長の理解を求めるとともに
保健所は広域的支援を行うことを表明

方法と結果

(2) 直接的な働きかけ

② 各町の関係者へ提案と助言

(H30.7～H31.3月)

- ・ 庁内ワーキング会議
- ・ 地域ネットワーク会議
- ・ 校長会

各町が
新たに設置

方法と結果

- ・担当者会議で出た要望を具体化
- ・町職員、地域の支援者、学校長に自殺対策推進に関する理解や課題の共有化、意見交換

担当者自身が抱える辛さを共有し
組織的な取り組みを検討

方法と結果

(3) 保健所の取り組みの評価 (H31.3月)

(各町自殺対策担当保健師向けアンケート)

	項目	平均点数 (10点満点)
検討する 機会の 提供	西臼杵地域自殺対策担当者会議(全6回)	10.0
	生活困窮者支援主管課への協力依頼	8.0
	住民意識調査の実施について専門家の講義・助言	6.7
直接的な 働きかけ	関係機関や町の幹部に対する保健所長からの説明	8.7
	各町ワーキング会議における保健所のレクチャー	10.0
	町長宛文書の発行 (全庁的取り組み、予算措置等への協力依頼)	9.0
	校長会でのレクチャー	10.0

考 察

各町の課題を共有し解決するために
機会を逃さず組織的な関わりをもつ

役場職員、校長の気づき

「自分たちの仕事は全て自殺対策につながる」
「所属の活動計画に自殺対策を取り込みたい」

役割の明確化

- 保健所⇒町

ゲートキーパー養成講座等の人材育成
普及啓発など**住民に密着した事業**

- 保健所は広域的な支援を強化

→ **地域での重層化した取組みへ**

いのちを支える高千穂町自殺対策行動計画

～誰も自殺に追い込まれることのない高千穂町を目指して～



いのち支える

平成31年3月
宮崎県 高千穂町

高千穂町自殺対策行動計画



2021年3月

日之影町

いのちを支える
高千穂町自殺対策行動計画

2023年4月～2024年3月

2021年3月

五ヶ瀬町

まとめ

町

- ・主体的、包括的に自殺対策に取り組むスタートラインに立った
- ・今後も各機関が主体的にかつ他分野と協働し、対策を推進することが求められる

保健所

- ・市町村の事業プロセスにおける課題を広域的に見極め、整理し、意思決定を手助けする役割を担う